

平成27年度事務事業評価シート(平成26年度実績)

事務事業コード	030101070	予算コード	01081730	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	市民後見推進事業			正規職員数 0.28	国庫支出金 342	有効性	B	高齢者の増加に伴い、認知症高齢者も増加傾向にあるため、今後ニーズは増えると考ええる。	
担当課	高齢介護課		嘱託職員数 0.23	府支出金	効率性	該当なし			
根拠法令等	市単独事業		臨時職員数 0	市債	妥当性	該当なし			
	■法律・政令・省令		歳出(千円)	その他	受益者負担	該当なし			
	老人福祉法、地域医療介護総合確保促進法		人件費総額 3,072	一般財源 3,072					
				減価償却費 0					
				事業費 342					
事務事業類型	運営事業	評価区分		フルコスト(千円)	3,414	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	34			平成26年度は8名オリエンテーションへ参加した。	
対象				活動指標	H26実績	公的関与	該当なし		
特定の市民		対象数	不明	地域包括支援センターへの権利擁護の相談件数	284.0	実施主体・委託化	D		
認知症高齢者						他の事務事業との関連	D		
事業の内容	泉佐野市において「市民後見人養成講座」の企画及び運営を実施し、将来市民後見人として活動する市民を養成するとともに、円滑に市民後見活動を行えるようサポート体制を整備する。			成果指標	H26実績	透明性	該当なし		
				オリエンテーションへの参加人数	23.0	財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	H26実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的	専門後見人には期待できない「寄り添って支援する」ということを、「市民という専門性」を持った市民後見人に期待し、被後見人の権利擁護を推進していくこと。								